



いわて政治塾が開校

八月二日(日)、岩手県連政治学校「いわて政治塾」の開塾式及び、第一回目の講座が開催されました。

いわて政治塾の開塾は、当初、今年春の開塾の予定が、新型コロナウイルス感染症の影響で延期となり今回開催の運びとなりました。国会議員、県議会議員の協力もあり、二十六名の塾生が集まり、無事開塾にこぎつけることが出来ました。これまでに全国で唯一、新型コロナウイルス感染者ゼロを維持してきた岩手県においても、去る七月二十九日に県内初の感染者が確認されましたことから、感染防止対策を徹底しての開催となりました。

開塾式では、中谷元 中央政治大学院院長と鈴木俊一党総務会長からお祝いのビデオメッセージが放映されました。第一講座では、塾頭の藤原崇県連会長が「問題の解決手段としての政治」と題して講演されました。



自由民主党

問題解決の実例を示し、それに伴う法律、事業制度、予算の壁、そして政治による問題解決の要点などついて、具体的に解りやすく政治に期待される役割について講演をいただき、新人の市町村議員やこれから政治の道を志す塾生も多いことから、終了後のアンケートの回答でも「非常に参考になりました。」との感想が多く寄せられました。

また、講演のあとは、班毎に分かれて、塾生と班担当役員(県議)とコミュニケーションを図ることを目的とし、意見交換を行いました。

県連と市町村支部との意見交換会を実施



八月九日、十日の二日間、自民党岩手県支部連合会として、各市町村支部との意見交換会を開催しました。意見交換会は盛岡市、奥州市、釜石市、久慈市の四か所で開催し、県内五十一の市町村支部の役員の方々にご出席をいただきました。

会議では党員獲得への取り組みや次期衆院選をはじめとした選挙対策、県連と市町村支部との連携強化、県連広報の在り方など、様々なご意見をいただきました。また、政策面においても各地域の課題を共有させていただき貴重な機会となりました。

いただいたご要望については、県連執行部として検討の上、今後の県連運営や選挙対策に活かしていきたいと思っております。

今回の意見交換会は、県連として初の取り組みでありましたが、非常に有意義であったと感じております。引き続き、県連執行部と市町村支部との交流や情報交換の機会を増やしながら、党勢拡大に向けて一丸となつて取り組みでまいりたいと思っております。皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。